

四旬節第6週（受難週）主日礼拝

2015年3月29日

第一礼拝(8:00～) 第二礼拝(10:30～) 夕拝(19:30～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『出エジプト記』10章21-23節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌7「主のみいと」と	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈祷		司会者	
感謝の賛美	新聖歌101「イエスよ十字架に」	—	同
聖書朗読	『マタイの福音書』27章45-56節(新約61頁)	司会者	
聖書黙想		—	同
説教	「暗闇はらわれし時」	近伸之牧師	
黙想		—	同
※応答の賛美	新聖歌395「主はガリラヤ湖の」	—	同
感謝の献金	(新聖歌55)	—	同
感謝祈祷		笹川清子姉	
諸案内		司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り		近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)

司会	片山 勝三兄	音響・映像	横堀 正美兄	CS担当	佐藤 繁実兄
集會	小山 千春姉	演奏・操作	横山 洋平兄	説教の録画	山崎 敬典兄
				掃除	小川 柳子姉

説教メモ

1. イエスが絶命するまで、三時間の暗闇があった。それは「天が暗くなった」のではなく、地上のすべての者が黙(もだ)し、押しつぶされる時であった。父なる神と永遠に引き離される苦しみにもがく主イエス。それは誰のためであったのか。私たち生まれながらの罪人のために、主イエスは苦しまれた。
2. 十字架を眺めていた者たちは、イエスの叫びを聞き、「(預言者)エリヤを呼んでいる」と考えた。そして実際に「エリヤが助けに来るかどうかわかることにしよう」と言った。全地の暗闇が晴れても、罪人の心を覆う暗闇は消えていない。だがイエスが死なれたのは、真っ先にこれらの人のためであった。
3. 私たちは、たとえどんな人間であろうとも、イエスが十字架にかけられたのは私のためであると信じるとき、救われる。どれほどの闇に覆われた心であったとしても、イエスを私の救い主と決心するならば、完全に救われる。罪の代価は、すべて十字架の上で支払われた。心から感謝して歩いていきたい。

個人、団体からの来信

2015年3月29日

聖ヶ丘キャンプより、春キャンプ奉仕者不足の連絡/新潟聖書学院、拡大神学講座の再案内/
「横田早紀江さんを囲む昼食会」案内(5/15金 10:30～13:30 ホテルオークラ新潟)/
新潟聖書学院より新年度前期聴講生募集の案内/東北地区KGK/東北ヘルプ/
新潟福音放送協力会ニュースレターNo.206/木南先生より、新曲「愛はあきらめない」CDほか

先週の集會出席者数

3/22(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 子ども 成人男性-	幼児女子2 小学女子2 中学女子- 高校女子- 4名 成人女性2
3/22(日)	第一礼拝	男2 女1 計3	3/23(月) 月曜家庭集會 (休会)
	第二礼拝	男8 女20 計28 子5	3/25(水) 救 禱 會 男3 女4 計7
	夕 拝	男1 女- 計1	3/27(金) シャベリ場夕ビタ 男- 女4 計4 子1
			3/27(金) 金曜 祈 禱 會 男- 女4 計4

諸集會のご案内

3/30(月)	月曜家庭集會	(休会)	
4/1(水) 19:30～	バルナバ祈禱會	教会堂	司会: 片山 勝三兄
4/3(金) 13:30～	シャベリ場夕ビタ	渡辺智子姉宅	問合先: 小山 千春姉
4/3(金) 夜	金曜 祈 禱 會	教会堂	

4/5(日)復活節第1週(イースター)

第一礼拝 8:00～	司会: 近伸之牧師 説教: 近伸之牧師	音響: 片山 勝三兄 献金: 片山 勝三兄	聖餐準備: 担当役員 配餐: 担当役員
教会学校 9:00～	担当: 片山 初子姉		
聖餐礼拝 10:30～	司会: 近伸之牧師 集會: 小川 柳子姉	音響・映像: 片山 勝三兄 演奏・操作: 横山 洋平兄 説教の録画: 山崎 敬典兄	感謝祈祷: 佐藤 鈴子姉 配餐: 横堀 正美兄 掃除: 小林 洋子姉
主日の予定	CS教師会 定例役員会	礼拝後 午後2:00	担当: 佐藤 繁実兄
礼拝について (聖餐礼拝)	聖餐: 46「わが主よ」 応答: 257「キリストは…」	感謝: 117「栄えの主…」 頌栄: 62「天つみ民も」	
夕 拝 19:30～	司会: 近伸之牧師 説教: 近伸之牧師		

報 告

1. 礼拝の感謝
本日は受難週の礼拝となりました。主の十字架のお苦しみを覚えつつ一週間を歩みましょう。
2. 本日の予定
本日午後は、学園バザーに向けてのお茶席の準備や礼拝司会者の奉仕研修などを行います。礼拝堂で同時進行する形になりますので、ご協力をお願いいたします。
3. 新潟聖書学院拡大神学講座について
今週4/4(土)よりシオンが丘キリスト教会にてモーセ四書を学ぶ神学講座が開始されます。教会員の方々には各週報箱へ案内をお配りしましたが、教会ごとにとまとめて申し込む都合で会堂出入口口掲示板に名簿を掲げております。受講希望の方は案内をよくご覧の上、本日中に名簿にご記入ください。

「偉大なるバカたれ」とは、私が中学三年頃、自分のモットーにしていた言葉です。「ほんとうに偉い人というのは、自分の損得を考えずに、常識的な人から見ればバカになって自分自身をほかの人のために投げ出せる人だ」と、当時好んで読んだ偉人伝や英雄伝から、私なりに得た一つの結論だったのです。自分でもそういう意味での偉い人になりたいと思ったものでした。

しかし後に聖書を読むようになって、「神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強い」(『コリント人への手紙第一』1章25節)という言葉に接した時に驚きをおぼえました。

“神の栄光”あるいは“全能の神”という言葉は、まことに神にふさわしい形容です。しかし“神の愚かさ”とか“神の弱さ”などは、果たして神に用いてよいのだろうかと思える表現です。でも聖書を読み進んでいくうちに、神は弱い私たちを救うために、あえて弱者となり、愚かな私たちを救うために、あえて愚かとなってくださったのだということがわかってきたのです。そしてその極みが、あの十字架だということなのです。

聖書の中にこういう記事があります。イエスさまがある家庭に招かれて行った時、ひとりの婦人が「非常に高価で純粋なナルドの香油が入れてある石膏のつぼを持って来て、それをこわし、香油をイエスの頭に注ぎかけた」のでした。するとまわりの人々が「なんのために香

油をこんなにもむだにするのか」と怒りながらこの婦人をなじったというのです。この婦人は、やがて自分の罪のために死んでくださろうとしているイエスさまの「葬りの用意」のつもりで、たとえ現価にして数百万円もするような香油であったとしても惜しくはないと考えたのでした。しかし常識ある人々は、これを「むだ」と見たのです。

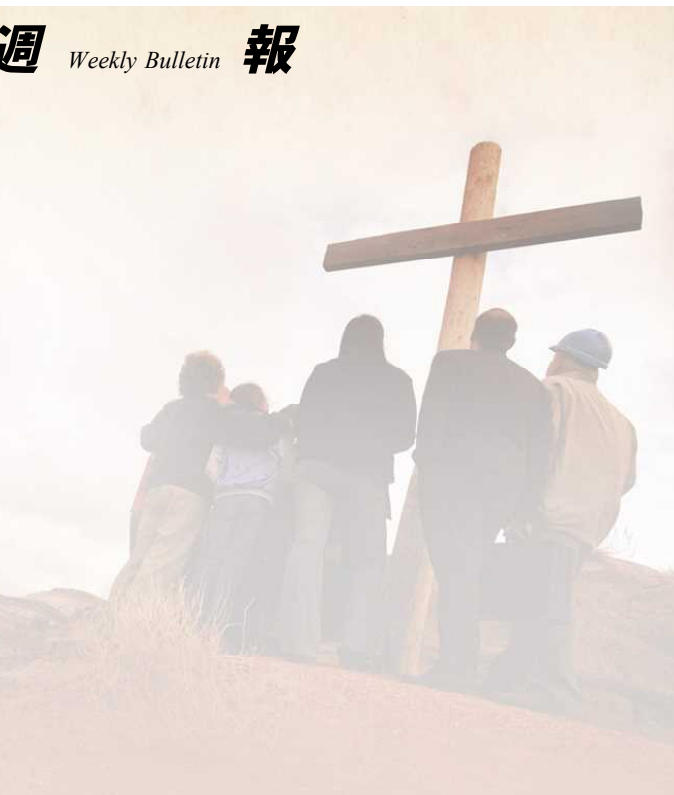
イエスさまはやがて香油どころではなく、ご自分の血潮を一滴残らず十字架上で流されました。考えてみてください。やがて自分のために死んでくださろうとしているイエスさまのために注いだ香油をさえ「むだ」というのであるとしたら、さんざん背き続けた罪人のために流す血潮、これほどの「むだ」があるでしょうか。

中世期のフランスで、罪人の最期を見とどけようと入場料を払い大勢が押しかけていました。ギロチン台に引き出された男は「貴様らは人が死ぬのを見るために金まで払ったのか。だれかこの俺の席を買っ奴はいないか」と叫んだところ、観衆は「この大バカ者。だれがお前みたいな奴のために死ぬバカがいるか」と言いました。おそらくそんなバカ者はいないに違いありません。

ところが、義人や恩人のためではなく、不敬虔な罪人、いや敵でさえあった者のためにイエス・キリストは死んでくださり、その「愚かさ」をあえてしてくださったのです。

週 *Weekly Bulletin* 報

すべて疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのものに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。
わたしの荷は負いやすく、わたしのくびきは軽いからです。
(マタイ11章28、30節)



2015年度教会目標

「心から進んで」

年間目標 それぞれに違った賜物が与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「彼らはそれを進んでささげるささげ物として【主】に持って来た」(出エジプト35:29)

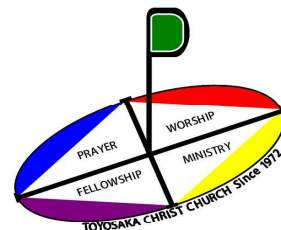
中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

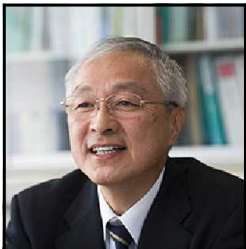
日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155
ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.com>
電子メール: info@toyosakakyokai.com
ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



4/4(土)イースター番組「キリストにある希望」松崎充彦さん
■メッセージ: 関根弘興

埼玉県坂戸市にあるキリスト教の葬儀を専門に行う葬儀社、株式会社「輝(かがやき)」の代表取締役・松崎充彦さんを紹介する。関東を中心に、年間約200件の葬儀に携わっている「輝」が大切にしていることは、イエス・キリストの教えに学び、キリスト教会と遺族に寄り添い、仕えることだという。松崎さんに「輝」の働きやキリスト教の葬儀などについて、お話を伺う。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。